

情報提供書を書くことを通してたくさん学ぶ連続講座 第一回

情報提供を書くために必要な見立て

をするために必要な情報収集

のために必要な話の聞き方

の基礎となる精神医学とその周辺についての基礎知識

日 時 12月28日・29日 10時～16時

会 場 菜の花ホール 研修室（三川町）

参加費 2日間 15000円

定 員 5名程度

参加資格:公認心理師有資格者 で かつ 2日間とも出席できる方

情報提供書を関係機関に提出する機会のある方

配信・録画はありませんが、直前の交通事情・熱発など不慮の事態の場合は

オンラインでの参加も検討します

*以下当オフィスのコラムと以下の書籍を読んでおき、当日も持参してください

<https://www.cp-office-sakata.com/post-281/>

井上勝夫 著「テキストブック 児童精神科臨床」 日本評論社

*お支払方法やスケジュールなど詳細は お申込みされた方にメールでご案内します

申し込み: 所属 資格 お名前を明記の上 sakata.cp.office@gmail.com まで

主催 さかた臨床心理オフィス

松本千鶴子(講師)

第一回講座 研修内容 テキストは逐語では読み合せませんので熟読の上ご参加ください

28日 聞くべきことを聞くための 精神現在症の基礎知識

10時～12時 読み合わせと解説 質疑随時

テキストより「臨床分水嶺日本語小辞典」

12時～13時 昼休憩 質疑

13時～16時 テキストより 第1章 精神現在症の必要性和評価の実際

29日 基礎知識をもとに 仮の見立てと絞り込みの問いを学ぶ

10時～12時 テキスト 第3章「初回面接」・ 第4章「診察に役立つ留意事項」

12時～13時 昼休憩 質疑

13時～16時 架空事例を通して演習

何を考えるか(仮の見立て) さらに何が必要か(情報収集)

「誰にどのように」尋ねるか を検討する

質疑 解説・講義

今後の予定

第二回講座 (当日まで第1回目の架空事例をもとに情報提供書を作成してくる)

作成した情報提供書を添削 話し合い 質疑 解説・講義

* 自分以外の人のも書いたものには気づきやすく、それも大事な力です。

架空事例をもとに 情報提供書を作成する

第三回講座

参加者が実際に作成した情報提供書を(管理職・本人の了解を得て) もとに話し合い

その後は随時定期的に実際のもを共同で検討できるようにしていきましょう。

講座の中で学ぶべき課題が見出された場合は、それをテーマにしていく場合もあります。